

児童ら「花いけバトル」



花いけバトルに挑戦する小学生＝
常陸大宮市上小瀬の県立小瀬高

常陸大宮 小瀬高企画、生徒も指導

枝物の生産が盛んな常陸大宮市で7日、地元の小学生たちが地域の花材を使って、即興で生け花の創造性を競う「花いけバトル」に

挑戦した。

部活動で同競技に取り組む県立小瀬高(同市上小瀬)が「地域に貢献できる人を育むとともに、異学年交流を通して、ものの見方や考え方を広げる」ことを目的に初めて企画。花材提供や技術指導も行っているJ・A常陸奥久慈支部会の協力の下、夏休み中の近くの市立緒川小と美和小の児童ら

14人を招いて実施した。

まず、枝物部会の生産者が、持ち寄ったユキヤナギやドウダンツツジ、ススキ、キイチゴなど約20種類の枝物の特徴などを紹介。続いて、高校生が2人1組で5分間の「花いけバトル」を披露した後、小学生は好きな枝物、生花を次々選んで、大きな器に飾った。

緒川小3年の佐藤愛菜さんは「お花が大好き。きれいに生けられ楽しかった」

と喜んだ。友達と参加した美和小6年の坪真和さんは「難しかったけど、高校生が優しく教えてくれ、いい体験になった」と話した。

花いけバトル全国大会にも出場した小瀬高3年の桑名華歩さんは「(小学生は)初めてとは思えないほど、良くできていて驚いた。これから花いけを楽しんでいってほしい」と期待した。

(高皇和弘)